

○ 重層長屋に係る主要な検討項目

路地状敷地等に建築されている多数の狭小住戸からなる大規模重層長屋について、地震や火災発生時の危険性を指摘する声があることを踏まえ、以下について検討を行う。

1. 大規模重層長屋の現状の把握

都市部における路地状敷地等に建築されている大規模重層長屋について、接道状況、敷地内通路の状況、戸数等の現状を把握する。

2. 大規模重層長屋の課題の整理

大規模重層長屋の現状をふまえ、出火後の火災の覚知、避難行動に係る時間、火災の拡大といった火災時における重層長屋の危険性及びそれをもたらす要因を把握し、課題を整理する。

3. 大規模重層長屋がもたらす危険性への対策の検討

大規模重層長屋の危険性をもたらす要因を踏まえ、対策の対象とするべき建築物の範囲（規模、周辺状況、構造方法等）及び対策の内容について検討する。